

飲水思源

町長

松岡市郎

木を植え、森をつくる気持ちで!!

未来をしっかりと予測することは「神のみぞ知る」で不可能なことではあるが、先人が行ってきたように柔軟な対応をできる未来への投資と遊び心(余裕)が必要なのだ。それは地域全体で支える「子どもたちの未来のために」の行動と実践でもある。

行政は一本一本の木を大切に育て、素晴らしい森へと成長させることが大切である。「過去に学び、未来に向かって何をなすべきか」と「一点を見て判断するのではなく、住民福祉向上という全体を見る」というのが町づくりの判断基準でなければならぬ。過去の実績を否定する人がいるが、否定してはいけない。時代は川の流れるように絶えず変化している中で、その時代の人たちによって最高と判断されるものを展開してきているからだ。

「少子高齢化で大変だ、大変だ」「日本は子どもの数が減り、人口が減っている。だから人口が増えるはずがない」。どこかで聞いた気がする。これは日本全体の平均的な話である。では終戦後からつい最近まで、日本では人口は増え続けてきていたが、すべての市町村で人口は

増えていたのだろうか。

全体が減っているから減る、増えているから黙って待っても自然に増えるのだろうか。答えは明白、「NO」である。それは歴史が証明している。

学校の試験もそうであるが、クラスの平均点が上がっていることが、必ずしも全生徒の成績が上がっていることにはつながらない。上がる者、下がる者がいて全体で上がっているのである。100点満点に近い者は伸びる点数幅は小さいが、50点程度やそれ以下の人は努力することによってまだまだ伸び、全体の伸び率に大きく貢献する可能性を持っている。

魅力ある町づくりとは、地域の人々の持っている「知と技」を使って、「東川らしさ」をどのように表現し、町の価値を高めることができるかでもある。学校の試験に例えるなら、平均点以上を目指して自ら努力する姿勢が大切である。

ご教示いただいた言葉に、芭蕉の「不易流行」がある。町づくりに置き換えて考えてみると、不易とは「東川らしさ」の持続であり、「流行」とは時代の流れに順応でき、先導できる能動的な行動であると考えている。

文化交流館 新刊図書・ビデオ案内

★本、DVDの蔵書リクエストをお受けしています

貸し出し期間は、図書は1人5冊まで14日間、ビデオは1人2本まで4日間です。返却期間を守りましょう(夜間返却窓口もご利用ください)。



魔法使いの弟子
(映画、DVD)
ウォルト・ディズニースタジオ・ジャパン

今は亡き偉大なる魔法使い「マリン」の弟子「バルサザール」は、現代のニューヨークで「マリン」の後継者である「デイヴ」と出会う。気弱な物理オタクの大学生「デイヴ」に魔法の美学と技を伝授しようと苦戦する一方で、魔法の監獄に閉じ込められていた史上最悪の魔法使いたちが次々とよみがえり、「選ばれし者」「デイヴ」の命を狙う残忍な魔法使いたちとの大戦争が始まる。その戦争にマンハッタン全体が巻き込まれていく。(109分)



ヤマトシジミの食卓
(児童書)
吉田道子／著 くもん出版／刊

主人公の「かんこ」は、3年生。お兄ちゃんが拾ってきた子犬と同じさびしそうな目をしていると思い、空き地の平たい石に座っていた「風助さん」を家に連れてくる。「風助さん」は、「かんこ」の生まれる前のまちの様子や、平たい石はヤマトシジミというチョウの食卓だと教えてくれた。そして時々「かんこ」の家から姿を消し、ある日を境に帰ってこなくなってしまう。



ポリテイコン
(一般書)
桐野夏生／著 文藝春秋／刊

大正時代、東北に芸術家たちがつくったユートピア「唯腕村」。村の後継者、「東一」はこの村で美少女「マヤ」と出会う。マヤの父親は失踪し、母親は中国で行方不明になって、北田という謎の人物の娘としてこの村に流れ着いた。過疎、高齢化、農業破綻、食品偽装など、ユートピアはいつしかデストピアへ。自らの王国に囚われた男と、国と国との狭間からこぼれ落ちた女の運命は…。